

駒澤大学地域グローバル化推進講座



Tea Culture

お茶を愉しむ英国と日本

ーティーボールからティールームまでー



国際センター所長
文学部英米文学科教授
モート,セーラ



お茶といえば、英国では紅茶、日本では煎茶と抹茶が思い浮かぶと思います。
元々は中国仏教の修行の場所で飲まれていたお茶ですが、飲まれる時と場所、嗜まれ方など、日英の「お茶の文化」は大きく異なります。
今回は、お茶の道具、茶室・装飾品、文学作品などを取り上げてみたいと思います。
英国で生まれ育ち、日本で生活している講師が、「お茶」を媒介とした日英文化をお話します。

日 時：2026年2月20日（金）

14：00～15：30

場 所：駒澤大学中央講堂
（駒沢キャンパス）

参加費：無料・申込不要

対 象：中学生以上

＜お問い合わせ先＞

駒澤大学国際センター事務室 受付時間：平日午前9時～午後5時（12：30～13：30 除く）

電話：03-3418-9196 FAX：03-3418-9146 メール：kokusaicenter@komazawa-u.ac.jp

